

月刊 河井克行 三月号

平成二十四年三月一日号（第八号）

衆議院議員 河井克行事務所

自由民主党広島県第三選挙区支部

国会事務所 TEL:03-3508-7518 FAX:03-3508-3948

広島事務所 TEL:082-832-7301 FAX:082-878-3301

ブログ「あらいぐまのつぶやき」 <http://kawai.fine.to/katsu>

谷垣総裁—野田総理「極秘会談」につき、党代議士会で質す

谷垣自民党総裁と野田総理大臣が2月25日（土）昼、ホテルオークラ東京・和食料理「山里」にて密かに会っていた、という報道が一斉に流れました。河井克行代議士は3月2日（木）の党代議士会で次のように発言しました。

「昨日から報道で谷垣総裁と野田首相が先週末会ったということが流れている。それについて総裁は一貫して否定している。私は総裁を信じています。だってそうでしょう、ガチンコの党首討論の直前にお互いの党首、総大将同士が裏でこっそり会ってとか、どういう話があったか知らないけれど、そんなことはなかったと信じて

います。また、全国で歯を食いしばり、必死の思いで次の選挙を目指して頑張っている落選中や新人の皆さんは、敵は民主党です。野田内閣はもう間もなく沈没する。党内ぐちゃぐちゃの状態。その船長にゆめゆめ救命ボートなど、わが党の総裁が差し伸べ



党代議士会において谷垣総裁に質問をする河井克行代議士
（日本テレビ系列 NNN ニュースより）

ることなど決してなさらないと心から信じています。だからこそ、ぜひ総裁にははっきりと事実関係を説明していただき、先だっの党首討論が決して茶番ではなかったことを国民にはっきりとおっしゃっていただきたい。」

これに対し、総裁は「会ったという事実は一切ない。」と明言。その後の会見で「その時間は自宅にいた」と記者団に答えました。

先月、河井代議士が呼びかけて、十数名の中堅・若手議員が「党全体で消費税増税を議論する場を早急に持ってほしい」と谷垣総裁に直談判をしましたが、未だに回答がない。党内からの議論の要請には応じないのに、民主党の総理と

は消費税増税への道筋について密談をする、そんな谷垣総裁ではないと河井代議士は信じています。

「極秘会談」をきっかけに永田町で流れている憶測があります。①話し合い解散を四月に行う、②議席目標は自民と民主で過半数、③選挙後は、消費税増税のための大連立を組み、勝った方の党首が首相を、負けた方が副首相をとる、④大連立政権は四年間は解散をしない…。表では互いの党員や支持者を戦わせておいて、裏では選挙が終わった後の首班指名まで事前に談合する…。こんな八百長選挙はとても国民が受け入れません。

党の現状を深く憂うる中堅・若手国会議員の同志とともに、日本の政治を根こそぎ変えるため、河井克行代議士は立ち上がります。

「大村秀章・愛知県知事を囲む会」を主宰

大村秀章さんが愛知県知事に当選して一年を迎える1月31日(火)、河井克行代議士の音頭により国会内で「囲む会」が開かれました。大村知事と河井代議士とは平成八年衆議院総選挙初当選同期議員の中でも、特に親交を温めてきた間柄です。昨年二月に実施された名古屋トリプル選挙(愛知県知事選挙、名古屋市長選挙、名古屋市議会解散請求の住民投票)の際には、「中京都構想」を引っ提げ、愛知から日本を変えたいと立候補した大村さんの応援のため、河井代議士は数回現地入り。結果は、次点候補のおよそ三倍、150万票を超える大量得票で大村さんが当選を果たしました。

「囲む会」は昨年の当選直後に続いて開かれたもので、自民、民主、公明、国新、無所属の国会議員二十数名が集まり、道州制や都構想、中京経済圏の現状と展望などについて活発な意見交換が交わされました。河井克行代議士は、道州制により地方から日本を変えていく大切な同志として、大村知事との連携を深めていく決意です。



「囲む会」終了後、記者の“ぶら下がり”に答える
河井克行代議士と大村秀章愛知県知事
(1月31日/衆議院第二議員会館)